

魚津市空間デザイン計画

(各整備エリアの個別計画)

駅東広場
地下通路
柿の木割
中央通り商店街

令和5年3月

魚津市



各整備エリアの個別計画

駅東広場のデザイン

つ：つくる ま：まもる そ：そだてる

デザイン キーワード	魅せる まちの顔をつくる、駅前からの眺望視点場をつくる	つ	ま
	誘う 分かりやすく誘導する	つ	そ
	集う 集い憩える場をつくる	つ	そ
空間 デザイン コード	空間構成 市の顔として魅力的で調和のとれた空間構成とする		
	○駅舎や駅周辺の街並みと調和した規模や配置とする	つ	ま
	○公共交通の起点として、利用者に分かりやすく、安全に移動できる動線とする	つ	そ
	○鉄道・バス利用者をはじめ、地域住民など多くの人々が落ち着いて集い憩える“たまり場”を設ける	つ	そ
	意匠表現 駅周辺と統一されたシンプルなデザイン		
	○まちの顔としてシンボリックなデザイン、駅舎や広場として統一されたデザインを用いる	つ	
	○年代や国籍などを問わず、誰もが直感的に分かりやすいシンプルなパターンのデザインを用いる	つ	
	○人々に安心感を与え、持続的に利用できる形状・色彩・素材の施設・設備や、花木などを用いる	つ	
	賑わい交流 賑わいの創出と交流が容易な空間		
	○駅前から駅周辺の街並みや遠望の山並みを眺望できる視点場を設ける	つ	ま
○駅から駅西方面や柿の木割り飲食店街などの駅周辺へと誘導する歩行空間を設ける	つ	そ	
○マルシェ等のイベントやオープンカフェなどに活用できる空間を設ける	つ	そ	
駅東広場 デザイン (構成要素) の方向性	舗装(歩道)		
	○色彩などを工夫するとともに、地場産材を活用するなど素材にも配慮した舗装とする	つ	ま
	○耐久性のほか、段差などのないバリアフリー化や冬期間の安全な歩行にも配慮した舗装とする	つ	ま
	○歩行空間とたまり場を区分した舗装とする	つ	
	広場		
	○誰もが安心安全に交流することができる施設とする	つ	ま
	○歩車分離の緩衝帯などとするほか、利用者の動線に適した樹種を配置する	つ	ま
	○人々が安らぎを感じるとともに、維持管理などが容易な施設とする	つ	ま
	シェルター、ファニチャー		
	○周辺施設との調和に配慮しつつ、賑わいの一助となる魅力的なデザインの施設・設備を配置する	つ	ま
	○安全性、快適性に配慮して、施設・設備の利用者の動線に適した配置とする	つ	ま
	○誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの施設・設備とする	つ	ま
	照明・サイン		
	○広場のデザインと調和のとれたシンプルで景観に溶け込む照明とするほか、主要な施設・設備のライトアップによる演出を図る	つ	そ
	○デザインの統一性に配慮するとともに、昼夜を問わず、利用者誰もが分かりやすい案内・誘導サインを適所に配置する	つ	そ
○演出だけではなく、夜間の防犯対策などにも寄与する照明とする	つ	ま	



駅東広場からの山並みの眺望



駅周辺道路・歩道の整備イメージ



駅東広場の夜間照明イメージ



オープンカフェのイメージ



冬期間でも安全な歩行空間(シェルター)のイメージ



分かりやすく区分された舗装イメージ



総合案内サインのイメージ

各整備エリアの個別計画

地下通路のデザイン

つ：つくる ま：まもる そ：そだてる

デザイン キーワード	繋ぐ	駅東と駅西をつなぐ	つ	
	導く	駅東、駅西の各方面へ誘導する	つ	そ
	楽しむ	移動する間を楽しむ	つ	そ
空間 デザイン コード	空間構成 駅東と駅西間の移動中を楽しめる空間構成とする			
		○駅東と駅西の空間（特性）をつなぐ懸け橋として、駅東や駅西と調和した空間とする	つ	ま
		○地下空間において、駅東、駅西の各方面の方向感を認識できる空間とする	つ	そ
		○圧迫感をやわらげ、移動する間を楽しめる仕掛けを設ける	つ	そ
	意匠表現 駅東と駅西を違和感なくつなぐデザイン			
		○地下通路の空間として統一された連続性のあるデザインを用いるとともに、駅東や駅西の空間デザインと調和にも配慮する	つ	ま
		○年代や国籍などを問わず、誰もが直感的に分かりやすいシンプルなパターンのデザインを用いる	つ	
		○単調になりがちな地下通路の空間にあって、移動する間を楽しめるアクセントとなるデザインを要所に用いる	つ	
	その他 安全・安心で、温かみのある歩行空間			
		○駅東と駅西をつなぐ地下空間として、誰もが安全・安心に利用でき、温かみのある歩行空間とする	つ	ま
	○採光、気流、臭気などに留意し、利用者が快適に移動できる歩行空間とする	つ	ま	
	○可変できる展示など、魚津市の魅力発進に活用できる空間を設ける	つ	そ	
地下通路 デザイン (構成要素) の方向性	舗装（歩道）			
		○開放的な東西の広場からの連続性を保ち、地下空間の暗さを感じさせない明るい色彩を基調とした舗装とする	つ	
		○駅東（山側：緑色など）、駅西（海側：青色など）のイメージカラーを設けるなど、方向感を認識できる舗装とする	つ	そ
		○安全・安心で、移動する間を楽しめるアクセントとなるデザイン舗装を取り入れる	つ	そ
	壁面・天井			
		○駅東（山側）と駅西（海側）をつなぐ空間として、山・海をイメージさせる地場産材を用いた壁面・天井とする	つ	ま
		○駅東（山側：緑色など）、駅西（海側：青色など）のイメージカラーを設けるなど、方向感を認識できる壁面とする	つ	ま
		○壁面を活用し、魚津市の魅力を紹介する展示スペースを設ける	つ	そ
	照明・サイン			
		○東西の広場などに配置する照明（色合いなど）との統一性を保つとともに、防犯に配慮しながら、地下空間の暗さ・怖さを感じさせない照明を設ける	つ	
	○昼夜を問わず、利用者誰もが分かりやすい案内・誘導サインを適所に配置する	つ	そ	
	○季節などに応じて可変でき、魚津市の魅力などを紹介する展示スペースを楽しめる照明を設ける	つ	そ	



地下通路のイメージ



地下通路の利活用イメージ



案内サインイメージ
〔錯視サイン (京浜急行電鉄株式会社 HP)〕



地下通路の利活用イメージ
〔市民ギャラリー (ナガラボ HP)〕



地元産材を活用した壁面・天井イメージ 映像技術を活用した演出イメージ
〔名鉄浄水駅前 地下通路 (ムーンライトゆかりん HP)〕



映像技術を活用した演出イメージ
〔パオシャドー (パナソニック HP)〕

各整備エリアの個別計画

柿の木割のデザイン

つ：つくる ま：まもる そ：そだてる

デザイン キーワード	賑わう 人々で賑わうデザイン性の高い空間をつくる	つ	
	誘う 多くの人々を誘導する	つ	そ
	広げる 開放的な空間をつくる	つ	
空間 デザイン コード	空間構成 多くの人々が行き交い、賑わいを感じることができる空間構成とする		
	○沿道の店舗などは、建築物等の連続性を確保するとともに、賑わいを演出できる“たまり場”を設ける	つ	ま
	○駅方面からの利用者をはじめ、各方面からの利用者が柿の木割エリアと分かりやすいゲート空間を設ける	つ	そ
	○安全性を確保しつつ、歩車道が一体になるとともに、建築物等のスカイラインが見わたせる開放的な空間とする	つ	ま
	意匠表現 飲食店街の温かみが伝わる統一されたデザイン		
○沿道の店舗などや公共空間は、賑わいを演出する明るさ・温かみのある色彩・素材などで統一したデザインを用いる	つ	ま	
○店舗などは、店舗ごとの特徴が楽しめるデザインを尊重しつつ、柿の木割エリアとしての統一的なデザインを持たせる	つ	ま	
○通りの見通し（ビスタ）を妨げる工作物や設備などは設けないよう配慮する	つ	ま	
柿の木割 デザイン (構成要素) の方向性	舗装（車道・歩道）		
	○柿の木割エリアとして、統一した色調・素材などの舗装とする	つ	ま
	○柿の木割エリア内外を区分し、エリア内と判別できる舗装とする（さらに、エリア内をゾーン区分した舗装も検討する）	つ	そ
	○歩車道境界は段差や縁石などを設けず、色彩・素材などで区分したフラットな舗装にするとともに、冬期間の安全な歩行にも配慮する	つ	
	道路設備（照明、電柱など）		
	○賑わいを演出するデザインの街路灯を配置するとともに、主要な施設・設備のライトアップによる演出を図る	つ	そ
	○柿の木割エリア内をはじめ、駅東広場との連続性を確保した街路灯を配置する	つ	ま
	○公共空間については、道路の無電柱化を検討する	つ	
	植栽・ファニチャー		
	○通りの連続性を損なう空間（空き地など）や“たまり場”には、通りに面して、連続性の確保や境界となる植栽などを配置する	つ	ま
○“たまり場”には、気軽に憩えるベンチや安らぎ・エリアの個性を感じる植栽などを設ける	つ	そ	
サイン			
○柿の木割エリアとして、統一したデザイン・色彩・素材などを用いたサインとする	つ	ま	
○昼夜・国籍などを問わず、利用者誰もが分かりやすい案内・誘導サインを適所に配置する	つ	そ	
○美しく安全な歩行空間を確保するため、サインの集約化を図るとともに、突出したサインは設けないよう配慮する	つ	ま	

ライトアップによる演出
連続性の確保や境界となる植栽などを配置
気軽に憩えるベンチや安らぎを感じる植栽などを配置
道路の無電柱化を検討
統一したデザイン・色彩・素材などを用いたサイン
サインの集約化・小規模化
統一した色調・素材などの舗装
エリア内と判別できる舗装
駅東広場との連続性を確保した街路灯を配置
誰もが分かりやすい案内・誘導サインの配置
色彩・素材などで区分したフラットな舗装

柿の木割エリアの整備イメージ

柿の木割エリアの整備イメージ

気軽に憩える空間イメージ

賑わいを演出する街路灯（ポラード）イメージ
〔良好な道路景観と賑わい創出のための事例集（H26.3、国土交通省）〕

エントランスゲートイメージ
〔良好な道路景観と賑わい創出のための事例集（H26.3、国土交通省）〕

柿の木割エリアの現況

各整備エリアの個別計画

中央通り商店街のデザイン

つ：つくる ま：まもる そ：そだてる

デザイン キーワード	賑わう 人々が懐かしさを感じながら賑わう空間をつくる	つ	ま
	巡る 回遊しながら楽しめる空間をつくる	つ	そ
	安らぐ 気持ち安らぐ場をつくる	つ	そ
空間 デザイン コード	空間構成 人々の交流や近隣商店街との回遊性を楽しめる空間構成とする		
	○沿道の店舗などは、建築物等の連続性を確保するとともに、買い物などを楽しめる安全な歩行空間を維持する	つ	ま
	○中央通り商店街をはじめ、他の商店街を回遊しながら楽しめる動線とする	つ	そ
	○買い物客や地域住民など多くの人々が落ち着いて集い憩える“たまり場”を設ける	つ	そ
	意匠表現 各店舗の個性を活かしつつ、商店街として統一されたデザイン		
	○沿道の店舗などや公共空間は、賑わいと懐かしさを演出する落ち着いた明るさ・温かみのある色彩・素材などで統一したデザインを用いる	つ	ま
	○店舗などは、店舗ごとの特徴が楽しめるデザインを尊重しつつ、中央通り商店街としての統一したデザインを持たせる	つ	ま
○人々に安心感を与え、持続的に利用できる形状・色彩・素材の施設・設備や、植栽などを用いる	つ	そ	
中央通り 商店街 デザイン (構成要素) の方向性	舗装（歩道）		
	○中央通り商店街のイメージカラーなどを基調（あるいはアクセント）とした舗装とする	つ	ま
	○歩道は、バリアフリー化や冬期間の安全な歩行にも配慮した舗装とする	つ	ま
	○中央通り商店街らしさを活かしながら、回遊を楽しめるアクセントとなるデザイン舗装を取り入れる	つ	そ
	道路設備（照明、電柱など）		
	○中央通り商店街や魚津市の特徴を伝える主要な施設・設備のライトアップによる演出を図る	つ	そ
	○防護柵などの道路設備の更新時には、中央通り商店街での統一性を確保しながら、景観に配慮したデザイン性の高い道路設備の配置を検討する	つ	ま
	○夜間の防犯対策などにも寄与する照明（街路灯など）の設置を検討する	つ	ま
	植栽・ファニチャー		
	○通りの連続性を損なう空間（空き地など）や“たまり場”には、通りに面して、連続性の確保や境界となる植栽などを配置する	つ	ま
	○歩行者の妨げとならない場所には、気軽に休息できるベンチなどを設ける	つ	そ
○人々が安らぎを感じるとともに、維持管理などが容易な植栽を配置する	つ	そ	
サイン			
○中央通り商店街として、統一したデザイン・色彩・素材などを用いたサインとする	つ	ま	
○昼夜を問わず、利用者誰もが分かりやすい案内・誘導サインを適所に配置する	つ	ま	そ



パークレットイメージ
〔KOBE パークレット（グッドデザイン賞（2018年度）HP）〕



休憩施設イメージ
〔良好な道路景観と賑わい創出のための事例集／長野市中央通り（H26.3、国土交通省）〕



デザイン照明イメージ



飾り詳細

トロツコのアーム飾り付照明
〔宇奈月温泉（NICHIGAI ホームページ/まちあかりマップ）〕



中央通り商店街の現況



隣接する商店街
（文化町通り商店街）



エリア周辺の地域資源
（鴨川）



エリア周辺の地域資源
（伏見稲荷 魚津大社）